

1. 概況

【事業環境】

当第3四半期における当社グループを取り巻く事業環境は、サブプライム問題に端を発する金融不安の影響や原油価格の上昇などにより米国景気の減速感が高まり、欧州も先行きの不透明感が高まりましたが、中国やインドを中心とするアジア地域の力強い成長に牽引され、引き続き堅調に推移いたしました。国内経済も、原材料価格の高騰や為替変動リスクの増加、個人消費の伸び悩みなどにより一部に弱さが見られるものの、成長の続く新興国向け輸出に牽引された企業部門主導の緩やかな回復持続などにより総じて堅実に推移しております。

IT投資については、米国での景気減速影響などを受け慎重な面が見られましたが、企業部門の収益、財務体質の改善基調が継続する中、グローバルな事業拡大や成長に向けた設備投資は依然堅調で、全体としては底堅く推移しております。

当社グループは、お客様起点に立った製販一体化への組織の変更とともに、お客様の多様なニーズにタイムリーに対応できるビジネス体制の確立を目指し、グループ会社を含めたフォーメーションの革新を進めております。お客様から見て「ONE富士通」として、グループの持つトータルな付加価値を提供してまいります。当社グループは、今後とも、豊かで活力あるネットワーク社会づくりに貢献し、お客様や社会から信頼されるよう一層の自己革新を図ってまいります。

【第3四半期（直近3ヶ月）の概況】

	2006年度 第3四半期 〔2006年10月1日～ 2006年12月31日〕	2007年度 第3四半期 〔2007年10月1日～ 2007年12月31日〕	前年同期比	11月 公表比
売上高	<6.8%> 億円 11,976	<8.1%> 億円 12,949	972	
営業利益 (営業利益率)	71 (0.6%)	466 (3.6%)	395 (3.0%)	266 (2.1%)
経常利益	42	437	395	
特別利益	97	25	▲ 71	
特別損失	▲ 22	▲ 198	▲ 176	
当期純利益	11	55	43	

注) <>内添字は前年同期比増減率

ご参考)

2007年度 第3四半期内訳	
会計方針 変更影響	会計方針 変更影響除く
億円 ▲ 12	<8.2%> 億円 12,962
▲ 3	470
	(3.6%)
15	422
-	25
-	▲ 198
10	44

【9ヶ月累計の概況】

	2006年度 9ヶ月累計 〔2006年4月1日～ 2006年12月31日〕	2007年度 9ヶ月累計 〔2007年4月1日～ 2007年12月31日〕	前年同期比	11月 公表比
売上高	<7.4%> 億円 35,599	<7.0%> 億円 38,080	2,480	
営業利益 (営業利益率)	577 (1.6%)	905 (2.4%)	328 (0.8%)	266 (2.1%)
経常利益	418	737	318	
特別利益	97	161	64	
特別損失	▲ 22	▲ 452	▲ 429	
当期純利益	160	▲ 38	▲ 198	

注) <>内添字は前年同期比増減率

ご参考)

2007年度 9ヶ月累計内訳	
会計方針 変更影響	会計方針 変更影響除く
億円 ▲ 55	<7.1%> 億円 38,135
▲ 36	942
	(2.5%)
22	714
-	161
▲ 250	▲ 201
▲ 159	121